

様式4

会議録

会議名 (審議会等名)	令和5年度第2回愛川町公共交通検討委員会		
事務局 (担当課)	総務部 企画政策課 内線(3233)		
開催日時	令和6年2月8日(木)午後2時00分~午後3時10分		
開催場所	愛川町役場2階 201会議室		
出席者	委員	12人(別紙のとおり)	
	その他	1人(代理出席)	
	事務局	5人(総務部長、企画政策課長ほか3人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	0人
非公開・一部公開の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 委員紹介 3 あいさつ 4 協議事項 地域公共交通計画の策定に向けた法定協議会への移行について 5 報告事項 町内循環バスの利用状況について 6 その他 7 閉会		

審議経過

(1 / 4)

※審議の要旨は次のとおり (○は委員の発言、●は事務局の発言)

次第1 開会

次第2 委員紹介

次第3 あいさつ

次第4 協議事項

地域公共交通計画の策定に向けた法定協議会への移行について

● (資料1に基づき説明)

○ (A委員) 今後、新たに策定する計画は平時の計画という認識で良いか。

●当該計画は、今後の地域公共交通をどのようにデザインしていくべきかを示すものであり、
基本的には平時のものである。しかしながら、緊急時の輸送体制といったところもテーマと
なりうると思われる。

○ (A委員) 南海トラフなど大規模地震の発生も懸念されている。本町は河川に囲まれてお
り孤立化する可能性もあるので、公共交通の面からも対策を検討していただけないとありがた
い。

○ (委員長) 全国で大規模災害が発生するリスクがある中で、被災時における公共交通の利
活用について盛り込む計画は増えている。

○ (B委員) 2024年問題として、本年4月から運輸部門において、時間外労働の上限規制が
設けられる。また、これまで、勤務終了から次の勤務に入るまでの間の休息時間が8時間必
要だったものが、最低でも9時間必要となる。このため、今ある仕事を全てこなそうとす
ると、乗務員の増員が必要となってくるが、大型2種免許の保有者数の減少や高齢化に伴って、

審　　議　　経　　過

(2 / 4)

乗務員はむしろ減っている状況である。この中で、昨年、26年ぶりとなる路線バスの運賃改定を行い、併せて乗務員の待遇改善も図ったところであるが、各業界で運転手の取り合いとなっており、採用強化には繋がっていない状況である。加えて、バス乗務員の勤務は、通勤、通学の時間帯をカバーする必要があるので、必然的に長時間労働になりがちであることも遠ざかる要因となっている。今後、地域公共交通計画の策定にあたっては、大型バスだけではなく、コミュニティバスや地域の輸送資源を最大限活用したものとしていただくようお願いしたい。

●2024年問題により、路線バスだけでも運転手が2万1千人不足するという統計結果がでている。また、2030年度には、3万人にまで膨れ上がるようである。こうした状況を踏まえ、町としても、計画策定にあたっては、福祉輸送や病院の送迎バスなど、あらゆる輸送資源を盛り込んだものとしてまいりたいと考えている。

○(C委員)町内のバス利用者の減少率と運転免許の返納率はどの程度か。また、町内は鉄道がなく、路線バスか自家用車が主な移動手段となっているので、運転手不足など、山積する課題に前向きに取り組んでいただきたい。

●人口減少や少子高齢化、さらには、コロナ禍によって人々の移動が少なくなっている実態があり、利用者はコロナ禍以前の概ね8割程度に留まっている。運転免許の返納者数については、令和4年度中は61人となっている。

次第5 報告事項

町内循環バスの利用状況について

●(資料2に基づき説明)

審議経過

(3 / 4)

○ (D委員) 運転免許自主返納者に対し、かなちゃん手形1年分の助成を行うほか、町内循環バスの乗車券50枚を5年間交付していただいているが、老人会では、乗車券を使ったことがないという話を聞く。私の住む三増地域には、昔は商業施設が多数あったが、現在はほとんど無くなってしまい、結果として路線バスの便数が減り、ダイヤ間隔が開いたことで利用しづらくなってしまった。また、町内循環バスは上三増まで運行していないため、買い物に行くにも不便である。三増に住む高齢者が買い物に行く際は、路線バスの「東中学校前」バス停で降りて、徒歩で10分以上かけ商業施設まで行っている状況があるので、町内循環バスをコピオ愛川やいなげやへ接続するよう検討していただきたい。

●今後、地域公共交通計画を策定するなかで、利用者等のニーズを伺いながら、望ましい交通体系について検討してまいりたい。

○ (E委員) 部活動の地域移行が話題になっており、拠点校への生徒の移動などに際して、町内循環バスの活用が可能だと思うが、運賃150円は高額であると感じほか、愛川東中学校がルート上にないので使いづらい。輸送手段がないことで、子どもたちの希望する部活が出来なくなるなどといったことのないよう、交通の面からも環境を整備していただきたい。

次第6 その他

○ (A委員) 地域公共交通計画の中に小田急多摩線の延伸については位置付けられるのか。

●小田急多摩線の延伸については、現行の総合交通計画でも位置付けているが、次期計画においても引き続き位置付けていくものと思われる。

○ (C委員) 唐木田駅から相模原駅までの状況についてはいかがか。

●平成28年の交通政策審議会の答申において、唐木田駅から上溝までは延伸を行うとされた

審 議 経 過

(4 / 4)

ほか、上溝以西については、上溝までの整備の進捗を踏まえて検討するとされた。また、令和4年に改定されたかながわ交通計画では、愛川・厚木方面への延伸についても新たに位置付けられたところである。

次第7 閉 会

会長(委員長)
署名欄

鈴木文彦

愛川町公共交通検討委員会委員名簿

(敬称略)

No.	選出区分	氏名	役職等	出欠
1	公募による町民等	佐藤和重		
2	公募による町民等	園弘子		欠
3	学識経験を有する者	鈴木文彦	交通ジャーナリスト NPO法人日本バス文化保存振興委員会 理事長	
4	学識経験を有する者	最上祐紀	神奈川県県土整備局都市部交通企画課 副課長	欠
5	学識経験を有する者	橋山英人	神奈川中央交通(株)運輸計画部 生活交通担当課長	
6	町区長会の代表者	小松崎恒昭	両向区長	
7	町区長会の代表者	郷司孝志	三増区長	欠
8	町区長会の代表者	井上桂	二井坂区長	
9	教育関係者	高山真一	愛川町中学校校長会 愛川町立愛川東中学校校長	
10	関係団体等の代表者	馬場洋一郎	愛甲商工会副会長	
11	関係団体等の代表者	荒井英明	神奈川県内陸工業団地協同組合専務理事	
12	関係団体等の代表者	馬場紀光	県央愛川農業協同組合代表理事組合長	
13	関係団体等の代表者	足立原善司	愛川町老人クラブ連合会副会長	
14	関係団体等の代表者	岡部眞由美	愛川町身体障害者福祉協会副会長	
15	関係団体等の代表者	柳川秋子	愛川町婦人団体連絡協議会 中津婦人会副会長	